母 なる上

┌──崎県にも、『福島高校』がある。── その話を耳にした

のは3年前、全国高等学校総合文化祭が宮崎県で

開催されたとき、合唱部門の福島県代表として参加し、宮

崎市のメディキット県民文化センターで本番を待っているときで

した。そして今回、わたしたちは串間市の皆さまのおかげで、

新幹線、飛行機、バスを乗り継いで到着した『福島高

校』。わたしたちを迎えてくれた生徒さんや先生たちの笑顔と

横断幕。初めて来たはずなのに、ずっとここにいたかのような、

母校に帰ってきたかのような懐かしい雰囲気を醸し出す校

舎。初めは緊張していた生徒たちも次第に気持ちがほぐれ、

体育館では真剣なまなざしで聴いてくださる福島高校の皆さ

まの前で、とても気持ちよく演奏することができました。そして、

わたしたちが校長室でごあいさつをしている間に、あっという

間に両方の『福高生』は仲良しになり、気がつくとホームス

翌朝、文化会館に集合した生徒たちはいろいろな体験

を経て、すっかり串間になじみ、それぞれの串間での一夜の

話題で盛り上がりました。そして、幸島と都井岬を案内して

いただきました。幸島の野生のサルの群れ、都井岬の雄大

な自然と伸び伸びと草を食む野生の馬たちの姿に生徒は歓

ティでお世話になるご家庭へと出発してしまっていました。

宮崎の福島高校、そして、くしま市を訪れることとなりました。



別れのとき。見送りの人々へ感謝の気持ちを校歌にのせて。

いました。しかし同時にこの素晴らしい自然をあるがままに残し ていくために、多くの人々が手をかけていること、大自然の営 みが健やかに続くためにどれほどの努力が必要なのかというこ とを学びました。そのようにして、串間の皆さまに愛され、守 られている自然は何という美しさなのでしょう。野生の馬が日々 一口一口食んでできた自然の芝の見事さ、その向こうには 水平線で青く溶け合う空と海。「あまりに美しくて言葉にでき ない…」私の隣を歩いていた男子生徒がポツリと独り言をも らしました。しかし、串間の自然に感動しながらも、心の片隅 には大地震と津波と原発事故で汚染された大地を抱えるフク シマへの複雑な思いがありました。特別に用意していただいた

声をあげ、動物たちや素晴らしい景観にただただ感激して

最終日の市民文化祭。白バラコールの皆さまと声を合わせ た「大地讃頌」の一節がわたしの耳によみがえります。 「大地を愛せよ 大地に生きる人の子ら その立つ土に感 謝せよ」。大地を愛することとはどんなことか、愛されている大 地はどれほど美しいか、それを教えてくれた串間の皆さまに心 から感謝します。

ミニ火まつりで、勇壮な胡桃太鼓の音に励まされ、大蛇の口

に投げ入れた植木君の火は、福島の復興へ向けての熱い

思いを燃え立たせてくれるように感じました。

いしかわちほ

福島県福島市在住。 福島県立福島女子高 等学校卒。お茶の水 女子大学文教育学部 音楽教育専攻卒。ピ アノを遠藤秀一郎、 若松淳子、北川暁子 の各氏に、声楽を桜 田葉子、 佐藤峰子の 各氏に、指揮法を久 保田悠太香氏に師事。 現在、福島県立福島 宫筌学校音楽教諭 同合唱部顧問

「岬の駅」都井岬イベント情報

岬の駅」都井岬 TEL 0987-76-1111

都井岬 秋のフォトコンテスト

- ●応募締切=12月28日(金)*消印有効
- ●結果発表=平成25年1月11日(金)午前10時に「岬の駅」都 井岬ホームページにて発表。受賞者には直接で連絡します。
- ●作品展示=1月12日(土)~31日(木)岬の駅1Fロビー
- ●応募形態

- ・カラー、モノクロ両方可の
- ・単写真のみ (組写真は不可)

●応募・問い合わせ先=〒888-0221串間市大字大納字御





ミス六花の皆さん



11月3日に第46回串間市民秋まつりがあ り、約15,000人が訪れました。恒例の パレードには子どもからお年寄りまで43団 体1,100人が参加。よさこい串間音頭や、 各地域の伝統芸能を披露しました。市内 6地区から選ばれた『ミス六花』もあでや かな和風姿でパレードに花を添えていまし た (写真左から田中亜子さん、井手絵梨 花さん、山口幸さん、野辺瑞希さん、武田 恵理さん、河野由加里さん)。 ステージイ ベントも行われ、多くの人でにぎわいました。

市民憲章

わたくしたちは、

- 1. 豊かな自然を大切にし、これをいか しましょう。
- 1. お互いを信じ、心をあわせ、平和で明 るいまちをつくりましょう。
- 1. 健康で働くことに誇りをもち、豊かな 住みよいまちをつくりましょう。
- 1. だれにも親切にし老人をいたわり、こ どもに夢と、しあわせをあたえましょう。
- 1. 教養を高め文化のまちをつくりましょう。

◎市の木/そてつ◎市の花/かんな ◎市の鳥/めじろ◎市の花木/山桜

◎人口 19,794人(前月比-47人) 男9,170人 女10,624人 世帯数8,351世帯

(平成24年11月1日現在) *平成22年度国勢調査からの推計人口です。」

FROM EDITOR'S

ませられてしまった。牛の美しさと 改良の奥深さ。興味は尽きない。 本一の瞬間。涙かのいれてしょうなかった。立ち会えたことに心か 本一の瞬間。涙があふれて止まら ら感謝した。彼らの夢へと向かう姿、み そして串間にまた1つ、誇れるものが誕 なを思いやる気持ち。学んだものは数え 生したことを心からうれしく思う。これ きれない。その感動を目いっぱい詰め込 から、わがまちを紹介するときには『和 んだ広報紙が出来たと、信じている(シ) 牛日本一のまち』と伝えていきたい(サ)

○この広報紙を読んだ感想や今後取り上げてほしい記事、 掲載内容に関する質問、串間市への思い、あなたの身近 な出来事、何でも好きなことを書いてください。

■点線に沿って切り取り、官製葉書に貼り付けてお使いください。

8 8 8 8 5	5 5
串間市役所総	合政策課
情報政策係	行

(No.924/2012.12)

◎ご氏名		
フリガナ		

○ペンネームまたはイニシャル

※記入がない場合、実名で記載させていただきます。

◎ご住所		\neg			
				1 1	

27 Kushima City Public Relations, 2012.12, Japan 雷話